

shinkoh

心耕

しんこう

2024(令和6)年

11月号

11月6日、夢ホールにて市原市写真連盟展開催
木村さんの見事な作品がスタート!!ぜひ

今月の行事

十二日 宝篋地主願寺参拝

バスツアーで行ってきます



西光寺報恩講

どくらかは
ちみりこまよ

二十二日(金)午後一時

講師 安藤圣一師 人形説き

二十三日(土)午前十時

講師 岩佐弘 親鸞聖人御代記

写経会八日(金)午後一時

終わらからあ来タイン

勉強会 壮年会六日(金)午後四時

婦人会休

草取り十日(日)午前八時

寺力石十七日(日)午前十時

自分で手藝にてキるお灸 予約制

おみがき二十一日(水)午前十時

ヨガ毎週火曜午後一時

お朝事 每朝六時半

ド迫力の名演技。女子アーティストを題材としたドラマ

極悪女王で、1kg増量し

太剛力彩芽さんが言ひ放つ。

「お前のプロレスはそんなもの、

タクグを組む相方に向うた言

葉だ。最終回 ユリアン扮する

タニア・松本の引退試合で、反則

あかま、なーのリアンンド言ひ放つ。

「お前が最後にやりたあた。ア

ロレスは二本かよ

人に刺さった。道をはずれよう

な時、二二まで言ってくれる人はいる

だろうか。大切にしているだろうか。

自分の目は外向きた。鏡がなければ

木はならぬ。経教は鏡なり。

仏教は鏡だ。日々確認をしてる

けれど、いつのまにか木てくれる。

法座案内

各種ご案内

・youtube 西光寺チャンネル

新しいアニメを作成中！



他の動画はQRからどうぞ！

十二日(火)

築地本願寺報恩講参拝

十一月は、築地本願寺へ団体参拝です

西光寺報恩講

二十二日(金)午後一時～

講師 安藤圣一師 人形説き

飴買い幽霊

NHKのひよっこりひょうたん島などでも上演されていました！

二十三日(土)午前十時～

講師 若住職 節談説教

親鸞聖人御一代記 立教開宗の段

報恩講つて？

浄土真宗を開かれた親鸞聖人のご法事です。最も大切な行事です。必ずお参りを！二十三日のお座の後は、手作りのお斎をいただきます。お手伝いしたい方は連絡を下さい。

・探していますー四月三十日振込の方！

四月三十日に、国分寺台西郵便局にて振り込まれた方で、氏名が無記名の方がおられました。記名の方は既に受領証をお届けしています。未到着の方は連絡を下さい。

・精進料理お手伝い募集！

二十三日の西光寺報恩講終了後、精進料理をいただきます。その為の準備を前日に行いますので、お手伝いしてみたい方は連絡をください。

・お朝事

毎朝六時半～七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。

・はじめのヨガ 毎週開催！
毎週火曜 十三時～ 每回千円
ヨガマット持参 予約不要

・草取り

十日(日) 八時～九時 今季最後です！

・写経会

八日(金) 十三時～十五時

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 六日 十一月は四日 十六時～
婦人会 休み

・おみがき

仏具を磨きます。作業は難しくありません。

一緒に本堂をきれいにしましょう。

日時 二十日 十時～十二時弁当付

内容 自分で手軽にできるお灸！

講師 梢緑先生(こずえ鍼灸院・門徒)

日時 十七日(日) 十時～十二時半

昼食付 大人五〇〇円 子ども無料

予約制 お寺まで 締切 十六日



・みんなの寺カフェ

・はじめの寺カフェ 毎週開催！

毎週火曜 十三時～ 每回千円
ヨガマット持参 予約不要

熊野權現

○ ○ 権現堂 ごんげんどう といふ名 権現や ごんげん

扇風機

鳩摩羅什
くまらじゅう

『阿弥陀經』を漢訳 した鳩摩羅什(三四)

ります。これは、仏教が日本に伝來し、日本古来の神々を包括する形で考えられた思想から始まりました。日本古来の神々は、仏^{ぶつ}や菩薩^{ぼさつ}が變化して現れたものであると
いう考えです。

和歌山県の熊野も平安時代に、熊野権現として仏教に取り入られていきました。本宮の家津御子神の本地は阿弥陀如来であると考えられました。

さて、この熊野權現は親鸞聖人の御伝記にも登場する

有名なエピソードがあります。常陸の国に平太郎という

人がいました。親鸞聖人の教えをよく聞き、念佛を大事にしていました。平太郎は領主と共に熊野詣に参る役目を授かりました。平太郎は悩みます。念佛を大事にして

いるのに神社に参つていいのかどうか。そこで、京の
親鸞聖人を訪ね相談しました。すると、「熊野権現の本地

身近な仏教用語を紹介しています。



こんなところに 仏教用語

びました。国に戻ると大乗仏教を説きます。母がもう一度一人で仏教を学びにインドへ行く際に、鳩摩羅什に言いました。「仏教の深い教えを中国に伝えなさい。それはあなただけができる」とです。」鳩摩羅什は「私は彼らにつたえる」とができるならばいのちをも惜しません。」といい母は安心しました。

三八四年、龜茲国に進軍した前秦の將軍呂光によつて捕虜となり、長安に連れて行かれる途中で前秦が滅びます。呂光は涼州で拠点を構え、鳩摩羅什は十五年間、涼州の地に幽閉さつしました。しかも、呂光によつて女犯を強要され、破戒僧となつてしまひます。人間の醜さと戒を破つた自らの愚かさを深く自覺した時期でした。この経験はその後のお経の訳に大きな影響を与えます。四〇一年、前秦の残党を滅ぼした後秦の姚興によつて長安に迎えられ、『法華經』『維摩經』『阿弥陀經』などの多くの經典や仏教解説書を漢訳しました。彼なくして今日の日本佛教はないのです。

法藏修行 『大經』三十一

重誓偈が終わり必ず無上正覺に成るべしと記されますが、必ずは今では無く當來を指します。親鸞聖人もこの必ずがだいすきです。今は未だ修行の身であることを感じ仏の指導する八正道を実施していきます。八正道とはお釈迦様が「苦集滅道」寂靜という四諦を示し、滅に至る道を教示したものです。道とは手段のことです。正見・正思惟・正語・正業・正命・正精進・正念・正定の八つで修行としての順序は無く全てが関連しています。

自害と害彼と、彼此ともに害するを遠離し、善語の自利と利人と、人我兼ねて利するを修習す」と正語を、「國を棄て王を捐てて財色を絶ち去け」と正命を、「みづから六波羅蜜を行じ、人を教へて行ぜしむ」と正業を示し、修行してきました。正業以外は自利の働きです。最後に正業を延べて利他の働きを示し自利利他円満します。

先ずは正見です。經典では「世間に超出して深く寂滅を樂ふ」として四十八願の正しい關係性を見て大衆の中で「この弘誓を興す」とあり、そして仏国を興した説明をします。続いて三毒等に關わらない物の考え方を説明をして正思惟を示し「少欲知足にして染恚痴なし」と語られます。その次に「三昧常寂にして智慧無碍なり。虛偽・詔曲の心あることなし」と正定を示します。次に「勇猛精進にして志願倦むことなし」と正精進を示して精進の在り方を語ります。続けて「空・無相・無願の法に住して作なく起

つて完成するのです。

最後に「一切の法において自在を得たりき」とあります。これは法藏の師である世自在王仏と同等を意味しているようです。最初の「必ず無上正覺に成るべし」を繰り返し確認しているようです。

法座案内

各種案内

・youtube 西光寺チャンネル

新しいアニメを作成中！
他の動画はQRからどうぞ！



十二日(火)

築地本願寺報恩講参拝

十一月は、築地本願寺へ団体参拝です

西光寺報恩講

二十二日(金)午後一時～

講師 安藤聖一師 人形説き

飴買い幽霊

NHKのひよっこりひょうたん島などでも
演されていた方です！

二十三日(土)午前十時～

講師 若住職 節談説教

親鸞聖人御一代記 立教開宗の段

報恩講つて？

浄土真宗を開かれた親鸞聖人の「法事」で

す。最も大切な行事です。必ずお参りを！二十三日のお座の後は、手作りのお斎をいただきます。お手伝いしたい方は連絡を下さい。

・探しています！四月三十日振込の方！

四月三十日に、国分寺台西郵便局にて振り込まれた方で、氏名が無記名の方がおられました。記名の方は既に受領証をお届けしています。未到着の方は連絡を下さい。

・精進料理お手伝い募集！

二十三日の西光寺報恩講終了後、精進料理をいただきます。その為の準備を前日に行いますので、お手伝いしてみたい方は連絡をください。

・お朝事

毎朝六時半～七時、お勤めをしています。
日々のお参り、命日などにお参り下さい。

・はじめてのヨガ 毎週開催！
毎週火曜 十三時～ 每回千円
ヨガマット持参 予約不要

・草取り

十日(日) 八時～九時 今季最後です！

・写経会

八日(金) 十三時～十五時

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 六日 十一月は四日 十六時～
婦人会 休み

・おみがき

仏具を磨きます。作業は難しくありません。

一緒に本堂をきれいにしましょう。

日時 二十日 十時～十二時弁当付

・探しています！四月三十日振込の方！

二十三日の西光寺報恩講終了後、精進料理

をいただきます。その為の準備を前日に行

いますので、お手伝いしてみたい方は連絡



存心 総成へ

朝、御晨朝（おあさじ）が嬉しい。蠟燭（ろうそく）に火を点ける。線香を用意する。香を焚く。御仏飯を供える。六時半になつて、阿弥陀様の正面に座りキンを二つ叩く。きーみよーむりよーじゅーによーらいし、正信偈を誦み始める。

約十二・三分。念佛と御和讃六首を交互に誦んで、がんにしくどくー、回向句で勸行の終わり。次に内陣に上がり御文章箱を取り、外陣に降りて御文章を読む。短い御文章で約二分、長いものだと早く読んでも十分以上と日によつて変わるが今朝の御文章は約十三分だった。御晨朝全体が終わつたのは七時十五分。

この御晨朝、朝のお勤め、かつては寺だけではなく門徒の家々でも勤められていた。減りはしたが今でも勤められてい。る。若い頃、飲み屋で隣り合わせた同年輩の男性と話していえ互いの仕事の話になり、私が坊主であると明かしたら、俺もお経は知つてゐるというので、どんなお経だと尋ねると、きーみよーむりよーじゅによらいーと始めたので、なーもーふーかーしーぎーこーと続けた。互いにつこり親しい付き合いが始まつた。野球のチームも出来て試合後の飲み会で大工の強打者が、俺は大工で家を建てるのが仕事だが坊さんは何が仕事だときいてきた。醉つてはいたがいい加減な返事はできない。うん、わしの仕事は人の心の中に家を建てる事じゃと言つた。わかつたようでわからない言葉だ。でも雰囲気だけは伝わつた。でも話した本人には雰囲気で済ませる話ではない。今に至るまで考え続けてる。無論、大工も正信偈を知つていた。



発行
平二九〇一〇〇二四
千葉県市原市根田

七二三一一

TEL : 0436-22-7412
FAX : 0436-24-1652
HP : <https://www.saikohji.net>
MAIL : saikohji@saikohji.net

十二月の行事

・四日 勉強会
・十二日 はじめの一歩
・十三日 写経会

・二十二日 日曜法座

・二十八日 寺カフエ
・ヨガ 毎週火曜
・お朝事 每朝

西光寺は浄土真宗、即ちお念佛のお寺である。一人一人の口元からナンマンダブが出てくる教えである。そうなるように努力しているつもりだが、それが実つてゐるかどうかわからない。わからないで良いのだ。浄土真宗。間違つても娑婆真宗とは言わないのだ。淨土に参らせて貰つたらすべてがわかる。先に参つた人と互いに良かつたなあと喜びあえる。